

## 平成28年度 学校の森教育研究推進校実績報告書

宮城県仙台市立愛子小学校

### 1 研究テーマ

「各教科等の学習内容と関連付けた愛子こどもの森の活用について」

### 2 「愛子こどもの森」活用実績

|     | 1 年                     | 2 年                    | 3 年                        | その他                      |
|-----|-------------------------|------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 4月  |                         | 生活科「春をさがそう」            |                            |                          |
| 5月  | 生活科「春をさがそう」             |                        |                            |                          |
| 6月  |                         |                        |                            | ハグリッズ<br>・森の整備           |
| 7月  | 生活科「夏をさがそう」             | 生活科「生きものとなかよし」<br>虫さがし | 理科<br>「カブトムシの幼虫からサナギ」      | ハグリッズ<br>・森の整備<br>・森で遊ぼう |
| 10月 | 生活科「秋をさがそう」お面やおもちゃの材料探し |                        | 総合「愛子の森で見つけよう」<br>(10月～1月) | ハグリッズ<br>・森の整備<br>・森で遊ぼう |
| 11月 |                         | 図工「あつめて、ならべて、いいかんじ」    |                            |                          |

### 2 「愛子こどもの森」活用のねらい

- (1) 体験を通じて、自然に関わることを楽しみ、自然環境や命を大切にする心を育む。
- (2) 季節による自然の変化に気付き、新しい発見や疑問を持つ豊かな感性を養う。
- (3) 愛子こどもの森での活動を通じて、自然に対する自分の考えや今後の働きかけについて考える機会とする。

### 3 「愛子こどもの森」活用の成果

- (1) 自然に関心を持ち、意識して関わろうとするようになった。
- (2) 生活科の学習では、草木や生き物の季節ごとの違いや移り変わりを「見て」「ふれて」「聞いて」「においをかいで」感じる事ができた。

- (3) 図工では、森で見つけた落ち葉や木の実、落ちている枝などを材料に創作活動を行った。森の中を回って材料を探す活動により、創作の発想が豊かになったと感じる。
- (4) 植物や動物の命の大切さに気付き、自分たちでできることなどを考えようとしていた。

#### 4 地域との関わり

愛子こどもの森は、学校のすぐ隣にある小さな森です。平成21年開校当時のPTA役員や地域の方が中心となり、「子どもたちの教育活動に活用させてほしい」と12名の地権者の皆さんと話し合ったことにより許可を得ることができました。

愛子こどもの森の整備や手入れは、愛子ハグリッツが中心になって行っています。愛子ハグリッツは、地域の方が中心となり、保護者、職員で組織された森の応援団です。活用当初の森は、手入れがなされておらず、草木が茂る状態でしたが、現在は低学年の児童も安全に活用できる環境になっています。(安全に活動できる最低限の整備で森を維持してくれています。)

ハグリッツによって、落ち葉を集めてカブトムシが卵を産む場所も作られ、幼虫やサナギの観察もできるようになっています。

#### 5 今後の課題

総合的な学習のカリキュラムの見直しのため、今年度から主に活用する学年が4年生から3年生に変わり、森を活用した総合的な学習の時間は減少しました。一方で学年の教科学習の中での活用に取り組み始めました。この取組は始めたばかりであり、本校のカリキュラムの中に森の活用をどのように組み込んでいくかについて、次年度も検討を重ねていく必要があります。

愛子のこども森を活用した学習には、学年を中心に取り組んでいますが、次年度は児童会活動としても活用したいと考えています。学習活動、児童会活動、地域の活動(ハグリッツ)の3つを活動の柱にすえ、愛子こどもの森の活用を検討していきたいと考えています。